



(左から)熊本地方法務局宇土支局長の川地さん、遠山さん

— 人権啓発活動に貢献 —
人権擁護委員として20年間

10/20 平成14年から20年間人権擁護委員を務めた遠山明美さん(78)に法務大臣感謝状が贈られ、守田市長立会いの下、市役所で伝達式が行われました。遠山さんは人権啓発活動や地域住民の相談に乗るなど積極的な取り組みを行い、「活動を通し学びと出会いの機会に恵まれ、人生の大きな財産となりました。」と振り返っていました。



ポッチャを楽しむ子どもたち

— 子どもの楽校 開校 —
元気な声があふれるニュースポーツ体験

10/15 今年度初となる子どもの楽校^{がっこう}が開校し、地域の人たちと松橋町、不知火町の小学生19人が参加しました。これは公民館事業として地域の交流と生きる力を育むことを目的に、15年以上前から継続して行われているもの。子どもたちからは「初めて体験して面白かった。」などの声が聞かれました。



(中央)江口さん、(右)市プロモーション大使の松村佳奈さん

— 食を通して地元を盛り上げていきたい —
ミスタージャパンファイナリストが訪問

10/11 小川町出身の江口貴啓さん(28)が守田憲史市長を訪問。江口さんは「2022ミスター・ジャパン」に県代表として出場し、飲食業の経験から食の大切さやSDGsの重要性を訴えて、4回の審査を通過。20人のファイナリストに選ばれました。「本職の飲食分野で地元の食材を使い、食を通して地元を盛り上げていきたい。」と語りました。



受講者の積極的な質問に応える高校生サポーター

— スマートフォンのお悩み解消 —
初心者スマホ講座で松高DX部が協力

10/7 ドコモショップ松橋店の講師を迎え、松橋西防災拠点センターで市主催の同講座を開催しました。松橋高校DX部もボランティアサポーターとして協力。12人が参加し、電話のかけ方やカメラの使い方を学びました。受講者は「高校生サポーターが親切に教えてくれたおかげで分かりやすかった。」と喜んでいました。



子どもたちに熱心に指導する江藤さん(中央)

— 松橋町野球協会主催 —
元プロ野球選手江藤省三さんが野球教室

10/29・30 野球の技術向上などを目的に3年ぶりに江藤さんの野球教室が開催。試合を行いながら江藤さんが子どもたちにアドバイスしました。松橋中野球部の守田颯馬さん(14)は「貴重な意見をもらえたので教わったことを実際に練習で試してみたい。」とコメント。江藤さんは「野球を通して学びや楽しさを感じてほしい。」と話しました。



旬を迎えた太秋柿を審査する出品者

— JA熊本うき柿部会 太秋果実品評会 —
市の生産者が金賞を受賞

10/25 柿のブランド力向上などを目的に品評会が開催され、品質部門23点・大玉部門14点が出品。JA職員や出品者らで審査され、品質部門で小川町の高野孝徳さん(65)、大玉部門で同町の長谷誠一^{ながたにせいいち}さん(80)が金賞に輝きました。高野さんは「このように良い賞を頂き、今後も良い物を作れるよう頑張りたい。」と意気込んでいました。



大迫力の獅子たちが生き生きと舞う

— 小川阿蘇神社秋季大祭の開催 —
3年ぶりの獅子舞に活気みなぎる

10/15 小川阿蘇神社で秋季大祭が行われ、3年ぶりに奴舞・獅子舞・亀蛇舞が奉納されました。秋晴れの空の下、古くから伝わる伝統芸能を見ようと多くの人が集結。獅子舞では、子どもが見せる玉にじゃれる獅子の様子を勇壮な姿で表現。参加した人々は、華やかで迫力のある舞に圧倒されていました。



(左から)新谷代表取締役社長から寄贈品を受け取る建岡校長

— 誘致企業の(株)九州エフ・シー・シーが地元貢献 —
学習用教材の寄贈で地域に恩返し

10/13 (株)九州エフ・シー・シーの新谷^{しんたに}代表取締役社長が松橋東支援学校へスーパーターカーFTを寄贈。この機器は、子どもたちが自分の声を録音しそれを聞きながら楽しんで学習するもの。建岡欣也^{たておか きんや}校長は、「子どもたちが楽しみながら授業ができるよう活用させていただきます。」と感謝を述べました。